

第 33 回新薬創製談話会
「新薬創製に向けて—創発的学際融合・産学連携—」

日時：2023年9月4日（月）～5日（火）
会場：嵐山ご清遊の宿・らんざん
実行委員長：掛谷 秀昭（京都大学大学院薬学研究科）

（プログラム）

9月4日（月）

12：30-13：10 受付
13：10-13：15 開会の挨拶
13：15-14：00 山西 芳裕（名古屋大学大学院情報学研究科・教授）
「AIによるデータ駆動型創薬」
14：00-14：45 井上 治久（京都大学iPS細胞研究所・教授）
「創薬インフラストラクチャーとしてのiPS細胞の利用」
14：45-15：00 コーヒーブレイク
15：00-15：45 瀬藤 光利（浜松医科大学医学部・教授）
「イメージング質量分析による創薬支援」
15：50-16：50 VSOP
16：50-17：00 写真撮影
17：00-18：00 ポスター発表

事務連絡

夕食、グループディスカッション

9月5日（火）

朝食

9：00-9：30 西澤 華子（第一三共 RD ノバーレ（株）創薬マテリアル研究部・専門研究員）
「高温菌由来の糖鎖加水分解酵素、Endo-Rpの探索」
9：30-10：00 二村 友史（理化学研究所環境資源科学研究センター・上級研究員）
「表現型を活用した抗真菌剤の探索研究」
10：15-10：45 服部 明（京都大学大学院薬学研究科・准教授）
「ユビキチン遊離反応制御による上皮細胞間接着維持機構の解明」
10：45-11：15 山下 和人（シスメックス株式会社 中央研究所 先端医療研究グループ）
「アルツハイマー病診断に向けた血液検査の開発」
11：15-11：45 宇野 貴夫（大鵬薬品工業（株）研究本部・グループリーダー）
「新規経口型 HSP90 阻害剤 Pimitepib (TAS-116) の創製」
11：45-12：00 総合討論、ポスター賞発表、事務連絡

閉会の挨拶

解散

顧問：長田裕之、塩見和朗、供田洋、井本正哉、日野資弘、及川信三、新藤一敏、吉田稔、早川洋一

常任幹事：掛谷秀昭（京都大・薬）、川田学（微化研）、臼井健郎（筑波大・生命環境）、伊藤昭博（東京薬科大・生命）、浅見行弘（北里大・大村智記念研）、大城太一（北里大・薬）、二村友史（理研）、荒井緑（慶應義塾大・理工）、

幹事：田端祐二（Meiji Seika ファルマ）、谷口昌要（大鵬薬品工業）、青木雅弘（AMED）、奥田彰文（エーザイ）、西村慎一（広島大・統合生命科学）

監事：田代悦（昭和薬科大・薬）、村松康範（第一三共 RD ノバーレ）

共催：公益財団法人 日本感染症医薬品協会

（敬称略）

参加費・宿泊費：お問い合わせください、参加締切：7月14日（金）

問い合わせ：第33回新薬創製談話会事務局（掛谷，西山）

[URL: <https://www.pharm.kyoto-u.ac.jp/sc-molsci/>]

* リトリート形式のため、参加制限人数を超えた場合は調整させていただきます。ご了承ください。